

ふれあいだより

認定 NPO 法人

たすけあいの会ふれあいネットまつど

TEL:346-0866 FAX(専用):346-0088

E-mail:fnm2011@r4.dion.ne.jp

ふれあいの居場所みんなち開設1周年記念イベント盛大になごやかに

6月22日(土)、ふれあいの居場所みんなちの1周年パーティーを開催しました。雨が心配でしたが、皆さんの祈りが通じ晴天に恵まれ、44名の方が参加。みんなち会場があふれるくらいでした。ヴィブラフォンのうっとりとした演奏で、皆さんで楽しく唄い、アンコールで盛り上がりました。食事は豪華な料理が並び参加者は大満足の様子。デザートは、西村特製の大きなケーキで、皆さん歓声を上げ美味しかったとの感想をいただきました。午後からは、全盲の稲葉さんのハーモニカ演奏。皆さんで懐かしい歌を10曲唄い、長時間のパーティーでしたが、喜んで帰られました。みんなちを応援してお茶を飲みに来てくれた方、講座やイベントに参加してくれた方、ボランティアで支えて頂いた大勢の方に感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともふれあいの居場所みんなちの応援をよろしくお願いします。

(みんなちマネージャー西村泰久)



記念イベントのメインイベント、渡辺洋一さんヴィブラフォン演奏



パティシエ西村特製のケーキをカットする浦和しま子さん(左端)



稲葉いつ子さんのハーモニカ演奏



駐車場にパラソルを立てオープン喫茶も

2013支え合いのある地域づくりセミナー 服部万里子先生講演会にケアマネら50人

6月8日(土)馬橋東市民センター2Fホールを会場に、まつどケアマネージャーネットワーク・松戸市の後援で、服部万里子先生講演会を開催しました。会場には介護保険に関心のある市民やケアマネージャーなど50名が参加。服部先生は「2014年度介護保険改定とケアマネジメントの動向」をテーマに実際の現場の話を交えて講演。参加者は熱心にメモをとっていました。また、ふれあいネットまつど奥田事務局長が「移動困難者の現状と福祉交通の動向」について講演を行いました。



松戸・東北交流サロン黄色いハンカチ 副町長も出席、福島県浪江町避難者交流会を開催



町の現状と計画について報告する渡邊文星浪江町副町長(中央)

6月22日(土)、松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」を会場に福島県浪江町民避難者交流会を開催しました(松戸・東北交流プロジェクト主催)。千葉県へ避難されている浪江町民ら40名が参加。お昼休みには、お弁当を食べながら懐かしいふるさとの話で会場は盛り上がりました。当日は渡邊文星浪江町副町長も出席。町の復興計画について報告、参加者の質問に答えました。読売、朝日、毎日、千葉日報、東京各紙の記者が取材。翌23日の朝刊に掲載されました。

2013
総会
特集

2013年度通常総会を開催 たすけあい活動と地域社会づくりを2本柱に

スライドを使って6議案を報告
満場一致で承認されました



6月16日(日)松戸市小金市民センターを会場に2013年度通常総会を開催。本人出席41人、表決委任37人、合計78人(定数103名)が参加しました。来賓に2013年度協働事業を積み上げたNPO法人子どもとまつど理事長渡辺洋子さん、復興支援活動でご協力いただいている宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅の三浦慶子さんが出席、ご挨拶をいただきました。議事は米谷哲二理事を議長にすめられ、①2012年度活動・事業報告②2012年度決算・監査報告③2013年度活動・事業計画④2013年度予算⑤新事業(地域支えあいセンター創設)について、討論を行い満場一致で承認されました。第6号議案役員選任では、9名(理事7名・監事2名)が別表の通り選出されました。

ご苦労様でした。これからもお元気に。 永年功労会員を表彰

功労会員表彰とは・・・

設立15周年を記念して、2012年より会の発展にご尽力いただいた会員に感謝の気持ちを込めて表彰状と記念品を贈呈することになりました。①会員歴15年②理事など役員を歴任③サービス等の活動を10年の会員を対象。2013年度は、三浦政美さん・吉田和子さん・高橋かほるさん・沢辺和子さん・佐藤トシ子さん・奥田義人さんの6人が表彰されました。

同会場和室で会員懇親会をなごやかに



【2013～2014年度役員】

役職名	氏名	
代表	島田 喜七	重任
副代表	佐久間 浩子	重任
副代表 事務局長	奥田 義人	重任
理事	西村 泰久	新任
理事	中原 勇	重任
理事	森田 トミエ	重任
理事	米谷 哲二	重任
監事	嶋根 正善	重任
監事	中 良夫	重任

代表に引き続き島田喜七さん
副代表に佐久間・奥田さんを選出

石原順二さんは退任。3年間ありがとうございました。



総会参加者で記念撮影。前列左から来賓の三浦慶子さん(東松島市仮設住宅) 沢辺和子さん・佐藤トシ子さん・西村泰久理事・島田喜七代表・大井俊敬さん・高橋かほるさん・奥田義人さん(賞状を掲げるのは功労会員表彰を受けたみなさん)。後ろの壁を使い、ふれあいの居場所みんなんちの1年間を振り返る写真展を開催。

新任理事西村泰久さん抱負を語る 「障がい者の代表とみんなんちの担当として」



西村さんのバルーンアート
はいつでも子どもに大人気。

今回ふれあいネットまつどの理事になりました西村泰久です。最初は理事の話をしたときは、びっくり夢にも思いませんでした。しかし、障がい者を代表して引き受けることにしました。

今後は、サービスを受ける立場として率直な意見を伝えることができるようにし、ふれあいネットまつどのサービスの質を向上できるようにしたいと思います。

また、ふれあいの居場所「みんなんち」ではボランティアさんと一緒に助け合って、お客様に楽しく過ごしていただける「みんなんち」になるように努力していきます。

新事業(地域支え合いセンター開設)計画を承認 建設費を会員の力で用意、「ふれあい債券」発行へ

2013
総会
特集

【新事業/地域支え合いセンター開設計画】

■ビジョン

旧京葉銀行北小金支店ビル 1F(100 坪)を新たに賃借し、「地域支え合いセンター」を開設します。

1. コミュニティスペース事業・デイサービス事業・地域福祉ネットワーク事業を新規に取り組みます。
2. 従来から取り組んでいるコミュニティカフェ事業・たすけあい事業・講習会事業・東日本大震災復興支援活動を発展拡大させます。
3. 地域支え合いセンターは、地域の子ども・障害者・高齢者・子育て中のお母さんなど地域の様々な人々と多世代が交流・つながりを紡ぎだし、誰もが「居場所」と「出番」を実感できる活動を行い、支え合い助け合いのある新しい地域社会づくりを行います。

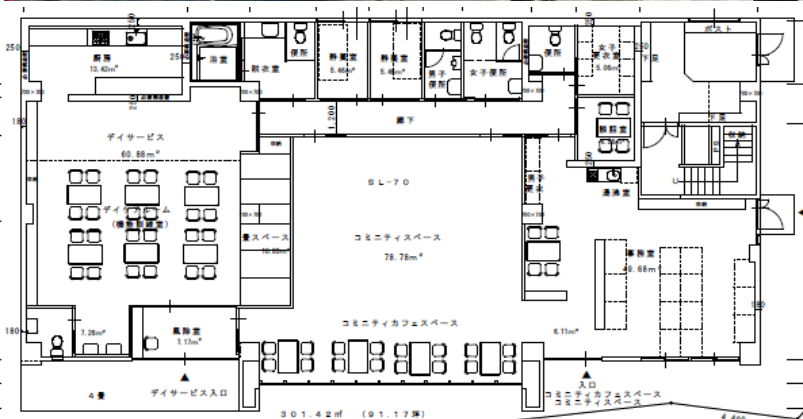
■目標

たすけあい活動の拡大強化・ネットワーク化をすすめ、地域の制度外サービスの拠点 - 「地域支え合いセンター」 - を目指します。

1. デイサービス事業を軸に在宅高齢者の居心地の良い「居場所」を目指します。
2. コミュニティカフェ・コミュニティスペースの活動を通じて、地域の様々な人・多世代の交流とつながりを作り出し、誰もが住みやすい地域社会とその活性化を目指します。
3. 以上を通して、地域の様々な人・多世代の誰もが「居場所」と「出番」を実感できる「地域支え合いセンター」にしていきます。

新事業/地域支え合いセンター開設に必要な資金については、これまで積み立てて来た資金をもとに、不足する金額 1000 万円を疑似私募債「ふれあい債券」(5 年もの/年利 1%)を発行して、会員の皆さまにご協力いただくことを決定しました。ふれあい債券は 7 月 16 日から募集開始。募集要項(パンフレット)を会員のみなさんにお送りします。

旧京葉銀行北小金支店(約 100 坪/現事務所の真向かい)を賃借し、デイサービス・コミュニティカフェを中心に地域支え合いセンターを開設します。



【2013 年度活動・事業計画】(抜粋)

- (1) 2013 年度は、15 年の歩みを会員共通の確信にし、新事業に取り組むとともに従来事業についても、会員の知恵と力を結集して発展させます。
- (2) 従来事業では、
 - ①「困ったときはお互いさま」の助け合い活動②支え合い助け合いのある地域社会づくり活動を車の両輪とし、6 つの柱を立てて取り組みます。
 - ①会員拡大と会員活動 ②たすけあい事業
 - ③ふれあいの居場所「みんなち」事業 ④講習会事業
 - ⑤NPO・行政との協働事業 ⑥東日本大震災復興支援活動

【2012 年度決算】

(経常収入の部)

科 目	金額
会費収入	687
たすけあい事業収入	21,052
その他事業収入	2,033
補助金・助成金収入	26,082
寄付金収入	1,726
その他収入	14
合 計	51,594

(経常支出の部)

科 目	金額
たすけあい事業費	16,354
みんなち事業費	3,267
東日本大震災活動費	8,993
その他事業費	4,723
管理費	12,252
合 計	45,589
収支差額	6,005

※単位:千円

【2012 年度活動・事業報告】(抜粋)

活動と事業の成果は以下の項目にまとめられます。

1. 堀田力氏市民講演会・祝賀会・記念寄附金運動を成功させました。
2. 全国に 4 万 5 千余 NPO 法人のあるなか、公益に資する NPO として全国 278 番目(松戸市内で初めて)の認定 NPO 法人になりました。
3. 新しい会員を 65 人迎えることができました。利用会員・正会員(協力会員)ともに前年の 2 倍の加入でした。
4. 運転者研修会(1 回)訪問介護員研修会(4 回)たすけあい活動研修会(1 回)を行いました。
5. ふれあいサービス、介護保険・障害福祉の制度サービスともに前年度を上回るサービスを行いました。制度サービスは時間数で前年対比 130%と大きく伸ばしました。
6. 2012 年 5 月念願であった地域多世代交流センター「ふれあいの居場所みんなち」をオープンさせ、地域でのつながりを紡ぎだしています。
7. 東日本大震災復興支援活動(宮城県東松島市)では、ボランティアバスを 7 回運行、新たに市民 200 人余が参加。夏休み子どもプロジェクト・夢ハンカチキャンペーンを行いました。
8. 広域避難者支援では、避難者交流会などを積み上げ、他団体と協働で 2013 年 1 月に「松戸・東北交流サロン黄色いハンカチ」をオープンさせました。
9. 新たな事業として国土交通省認定福祉有償運送運転者講習会を 4 回開催しました。
10. 以上の活動を通して、予算・前年比とも収益増となりました。その結果、新事業積立金を 500 万円まで積み増すことができました。

熱中症予防！ 声かけプロジェクト

梅雨明けもまだなのに、猛暑の日が続いています。新聞テレビでも、今年は早い時期からの「熱中症対策」が必要だと報道しています。厚生労働省でも「たかが熱中症・・・」と侮らないで適切な対策をとることを呼びかけています。本会では、会員みんなが熱中症にかからないよう、「熱中症予防声かけプロジェクト」に取り組みます。

なぜ高齢者は熱中症になりやすい？

- ① 体内の水分不足。加齢で脱水状態になりやすくなっていて、老廃物を出すためにたくさんの尿を必要とするため。
- ② 暑さを感じにくくなっている
- ③ 暑さへの調整機能低下。

あれ？ 熱中症かな？ - 熱中症の症状

(軽 症) 立ちくらみ・大量の汗をかく
(中等度) 頭痛・吐き気、嘔吐(おうと)
(重 症) まっすぐ歩けない・けいれん
からだが熱い・呼びかけに返事がおかしい
⇒ 命の危険 ⇒ ためらわずに救急車を呼ぶ

その① こまめに水分をとっていますか？

高齢者はのどの渇きに気付きにくい。熱中症予防の要は水分補給です。喉が渇かなくても、こまめに水分をとりましょう(1日1~1.5ℓ、ポカリなどの吸収のよいスポーツドリンクを用意しましょう)。

みんなで
5つの
声かけ

その② 温度に気を配っていますか？

- 室内にいても熱中症にかかります。「節電」だからと言ってエアコンを使うのをためらわないように。
- 28度位の高めの設定温度でもエアコンを使い室温を下げましょう

その③ 休息をとっていますか？ 日中のお出かけをひかえましょう。

- 夏に頑張りすぎは禁物。疲れていると熱中症にかかりやすくなります。身体が熱いと感じたり休憩の際は、ぬれたタオルなどで首筋や頭などを冷やし体温を下げましょう。
- お出かけは暑い盛りを避け、日傘や帽子で日射対策を。屋内は軽装に。

その④ しっかり栄養をとっていますか？

暑いからと言って食事を手抜きしていませんか。きちんと食事をとることも熱中症予防になります。

その⑤ みんなで声かけあって 熱中症を予防しましょう！

お知らせ

- 7月25日(木)10時~11時半(ふれあいの居場所みんなんち)7月度会員定例会
理事会からの報告、サービス・活動について会員の意見交換の会です。①②いずれかにご出席下さい。
- 7月11日(木)イエローシートの日です。
イオン北小金店でお買いもの。レジで渡された黄色いシートをふれあいネットまつどのBOXへ入れて下さい。お買い物金額の1%がイオンからふれあいネットまつどへ寄付されます。
- 7月21日(日)13時半~15時半(コブ新松戸店集会室)移動サービス運転者研修会
- 7月26日(金)16時~18時(ふれあいの居場所みんなんち)訪問介護員研修会

東日本大震災復興支援 - 収益を支援募金に -
第2回ふれあい夏祭りを8/24(土)事務所駐車場で開催します。

●運営・協力していただけるボランティア募集！ ●7月9日(火)16時~/みんなんち 実行委員会を開催します。